News Release

ATZ210929_E_J

ARTIZON MUSEUM | ISHIBASHI FOUNDATION

報道各位

2021 年 9 月 29 日
公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館

はじまりから、いま。1952ー2022
アーティゾン美術館の軌跡 ―古代美術、印象派、そして現代へ

2022 年 1 月 29 日［土］ー 4 月 10 日［日］

① 藤島武二《東洋振り》1924 年

② 藤島武二《黒扇》1908-09 年 重要文化財

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館（館長 石橋 寛）は、「はじまりから、いま。1952ー2022 アーティゾン美術館の軌跡―古代美術、印象派、そして現代へ」を開催します。
アーティゾン美術館は、５年間の休館と改名を経て、2020 年に新たにオープンしました。前身となるブリヂストン美術館の創設者石橋正二郎は実業家として成功を収める一方、日本近代洋画や西洋近代美術を中心とするコレクションを築き、美術館を設立しました。1956 年の石橋財団設立後、その収集と美術館運営は財団に引き継がれます。また正二郎の長男幹一郎は、財団運営をおこなうとともに、自ら戦後フランスを中心とした抽象絵画を収集しました。幹一郎の没後、それらは正二郎から引き継がれた日本東洋古美術などとともに遺族によって石橋財団に寄贈され、従来のコレクションに大きな発展をもたらしました。石橋財団の運営によるアーティゾン美術館は、これまでの活動とコレクションを引継ぎ、拡張するとともに、コレクションと現代美術家との共演による展覧会「ジャム・セッション」などの新たな企画にも挑戦しています。
本展では、1952 年のブリヂストン美術館開館から 70 年の歴史を持つアーティゾン美術館の軌跡を、約 170 点の作品と資料とでご紹介いたします。また、これまで開催した展覧会のポスターや開館以来続く土曜講座の記録、美術映画シリーズ、正二郎の欧米外遊記録などさまざまな資料とともに、歴史を振り返ります。

【本展の見どころ】

1．石橋財団コレクションの現在から 70 年の歴史を振り返ります。

石橋財団は現在約 2,800 点の作品を所蔵しています。古代美術、西洋近代美術、日本近代洋画、20 世紀の抽象絵画や現代美術、そして日本東洋古美術など多岐に渡るコレクションがどのように形成されていったのか、収集の歴史を遡りながら代表的な作品約 170 点をご紹介します。

2．新収蔵作品《平治物語絵巻 常磐巻（ときわのまき）》（重要文化財）を初公開

「平治物語」の終盤を、全長 16m に渡って描いた絵巻が、新たにコレクションに加わりました。やまと絵の特徴を示す鎌倉時代 13 世紀の制作で、平清盛や常盤御前、牛若などが登場し、ドラマティックなストーリーが展開されています。

3．ザオ・ウーキーの大作、14 年ぶりの展示

中国出身の画家ザオ・ウーキーは、東洋と西洋が融合した独自の画風を切り開き、戦後のパリ画壇で確固たる地位を確立しました。本展出品作《無題》（1982 年）は、長さ 3.7m を超える中国紙に墨で描かれた大作で、展示されるのは 14 年ぶりです。石橋財団の理事長であった石橋幹一郎はザオ・ウーキーを高く評価し、コレクションを築きました。この作品も自ら収集したもののひとつで、ザオから礼状が届くなど、両者の深い交流を示すものです。

4．さまざまなアーカイブ資料を公開

1952 年のブリヂストン美術館の開館記念展から現在までの 100 点以上の展覧会ポスターを一堂に展示するほか、1950ー60 年代初頭に前田青邨や坂本繁二郎ら芸術家たちの姿を撮影した記録映画、2,300 回を超える土曜講座の記録なども公開します。土曜講座では、これまでに多くの美術史家や武者小路実篤、岡本太郎ら著名な文化人、芸術家による貴重な講演がおこなわれてきました。

【構成】

第 1 章 アーティゾン美術館の誕生

第 1 章では、近年の収集作品とともに、コレクションと現代美術家の共演による展覧会「ジャム・セッション」をきっかけに収蔵された作品などをご紹介します。アーティゾン美術館では、藤島武二《東洋振り》をはじめ、日本近代洋画や印象派などの従来の中心的なコレクションの充実に加え、20 世紀初頭から現代までの美術へも視野を広げ収集しています。あわせて、これまで開催した展覧会のポスターや、ブリヂストン美術館の開館当初から続く土曜講座の記録もご覧いただけます。

③　ジャム・セッション 石橋財団コレクション×鴻池朋子
「鴻池朋子　ちゅうがえり」展会場風景（2020 年）
©Tomoko Konoike　Photo by Nacása & Partners

④　ジョアン・ミッチェル《ブルー・ミシガン》1961 年
© Estate of Joan Mitchell

第 2 章 新地平への旅

1998 年の石橋幹一郎没後、遺族によってその個人コレクションが石橋財団に寄贈されたことで、従来のコレクションに大きな拡がりがもたらされました。なかでも幹一郎が収集したザオ・ウーキーをはじめ、戦後フランスの抽象絵画は、正二郎のコレクションと現在のコレクションをつなぐ重要な位置づけにあります。また、幹一郎がその公開に尽力した日本および中国の書画・陶磁器などのコレクションや、1953 年に立ち上げた映画委員会による、芸術家のアトリエ風景などを取材して制作した記録映画をご紹介いたします。

⑤ 《平治物語絵巻 常磐巻》（部分）鎌倉時代 13 世紀
重要文化財

⑥ ザオ・ウーキー《無題》1982 年
©2021 by ProLitteris, Zurich & JASPAR, Tokyo C3621

⑦ ザオ・ウーキー《07.06.85》1985 年
©2021 by ProLitteris, Zurich & JASPAR, Tokyo C3621

第 3 章 ブリヂストン美術館のあゆみ

石橋財団コレクションは、1961 年に寄贈された石橋正二郎の個人コレクションが基礎となっています。正二郎は日本近代洋画や西洋近代美術を中心とするコレクションを築き、美術館を設立することでそれらを広く一般に公開しました。また、欧米の美術館・博物館を数多く視察したことで古代美術にも関心を拡げ、開館後も積極的に収集しています。ここではブリヂストン美術館の開館初期のコレクションをご紹介し、あわせて正二郎による欧米外遊の記録を資料とともに振り返ります。

⑧ クロード・モネ《黄昏、ヴェネツィア》1908 年頃

⑨ ギリシア《ヴィーナス》
ヘレニズム時代（紀元前 323-30 年）

【開催概要】

展覧会名：　はじまりから、いま。1952ー2022
　　アーティゾン美術館の軌跡ー古代美術、印象派、そして現代へ
　　＊展覧会タイトルを省略する場合は【はじまりから、いま。1952-2022】とご記載ください。
主　　催：　公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館
会　　場：　アーティゾン美術館 6・5・4 階展示室
会　　期：　2022 年 1 月 29 日［土］ー 4 月 10 日［日］
開館時間：　10：00 ー 18：00（2 月 11 日を除く金曜日は 20：00 まで）＊入館は閉館の 30 分前まで
休 館 日：　月曜日（3 月 21 日は開館）、3 月 22 日
入館料（税込）：日時指定予約制（2021 年 11 月 29 日［月］よりウェブ予約開始）
ウェブ予約チケット 1,200 円、当日チケット（窓口販売）1,500 円、学生無料（要ウェブ予約）
＊ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。
＊中学生以下の方はウェブ予約不要です。

＊開催情報は予告なく変更となることがあります。

担当学芸員：田所夏子、平間理香、黒澤美子

アーティゾン美術館　〒104-0031　東京都中央区京橋 1-7-2
Tel: 国内 050-5541-8600　海外 047-316-2772（ハローダイヤル）www.artizon.museum

アクセス：JR 東京駅（八重洲中央口）、東京メトロ銀座線・京橋駅（6 番、7 番出口）、東京メトロ・銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅（B1 出口）から徒歩 5 分

【広報用図版】

１点のみ掲載の場合は①、②の 2 点よりお選びください。
掲載時には必ずクレジットをご記載ください。また、文字載せやトリミングはご遠慮ください。

■図版①～③、⑤、⑧、⑨は、下記サイトからダウンロードしていただけます。
広報用画像データのダウンロードはこちら
https://www.artpr.jp/artizon/hajimari

※③は著作権保護期間中の作品ですが、本展広報目的での使用許可を得ています。
　作家名、作品名に加え、コピーライト表記が必要です。
※著作権保護期間中の作品図版④、⑥、⑦のご使用については下記広報課宛にご相談ください。

本プレスリリースについてのお問合せ先
アーティゾン美術館　広報課　松浦・小川・宮武

＊一般の方のお問合せ先は 050-5541-8600　(ハローダイヤル)　です。
E-mail: publicity@artizon.jp
TEL: 03-6263-0132（広報課直通・誌面への掲載はご遠慮ください。）
〒104-0031　東京都中央区京橋 1-7-2

ARTIZON MUSEUM | ISHIBASHI FOUNDATION

2022 年 1 月 12 日
公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館

「はじまりから、いま。1952ー2022」展 追加情報

新収蔵《鳥獣戯画断簡》初公開
公式アプリ スペシャルコンテンツ 「《平治物語絵巻 常磐巻（ときわのまき）》山口晃をしてかく語らしむ。」

1, 新収蔵《鳥獣戯画断簡》初公開

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館は国宝《鳥獣戯画》（京都・高山寺蔵）甲巻の、もと一部であった断簡を新たにコレクションに迎えました。60 年ほど前にアメリカのコレクターの手に渡り、久しぶりに日本に戻ってきたものです。
本作品は、1 月 29 日[土]より開催する「はじまりから、いま。 1952ー2022 アーティゾン美術館の軌跡ー古代美術、印象派、そして現代へ」展にて初公開します。

《鳥獣戯画断簡》 平安時代 12 世紀 石橋財団アーティゾン美術館蔵

2, 公式アプリ スペシャルコンテンツ 「《平治物語絵巻 常磐巻（ときわのまき）》山口晃をしてかく語らしむ。」

アーティゾン美術館公式アプリをダウンロードいただくと、画家の山口晃さんが「はじまりから、いま。1952ー2022」展に出品される重要文化財の《平治物語絵巻 常磐巻》について語った動画を展示室内でお楽しみいただけます。全部で16編。会期中の展示替えにあわせ、視聴内容も入れ替わります。

《平治物語絵巻 常磐巻》（部分）鎌倉時代 13 世紀 重要文化財 石橋財団アーティゾン美術館蔵

山口晃
1969 年東京生まれ、群馬県桐生市に育つ。96 年東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻（油画）修士課程修了。13 年『ヘンな日本美術史』で第 12 回小林秀雄賞受賞。
日本の伝統的絵画の様式を用い、油絵という技法を使って描かれる作風が特徴。絵画、立体、漫画、インスタレーションなど表現方法は多岐にわたる。国内外での展示多数。東京メトロ日本橋駅のパブリックアート、東京 2020 パラリンピック公式アートポスターを制作。
撮影：曽我部洋平